

自平成 28 年 4 月 1 日
至平成 29 年 3 月 31 日

平成 28 年度事業報告書

公益財団法人 MR 認定センター

平成 28 年度事業報告書

自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日

1.平成28年度事業の実施

平成28年度の事業は、3月14日に開催された公益財団法人MR認定センター第22回理事会において承認を得た「平成28年度事業計画」に基づき実施した。

2. 理事・監事・評議員

1) 評議員の選任

評議員の小泉政幸氏の辞任申し出に伴い、杉山茂夫氏が選任された。

評議員の野木森雅郁氏の辞任申し出に伴い、多田正世氏が選任された。

評議員の佐藤博氏の辞任申し出に伴い、林昌洋氏が選任された。評議員の任期は、定款第16条により平成30年度定時評議員会の終結の時までとなる。

2) 理事及び監事の選任

任期満了に伴う理事及び監事の選任を行い、理事8名と監事全員が再任した。

理事の小清水敏昌氏の任期満了による退任に伴い、佐藤和人氏が選任された。

なお、代表理事として高久史磨理事が選任され、業務執行理事として佐藤和人理事が選任された。

理事及び監事の任期は、定款33条により平成30年度定時評議員会の終結の時までとなる。

3) 理事会及び評議員会の開催

(1) 理事会

第23回 5月27日(金) 於:「東京會館 LEVEL XXI」オリオンルーム

- ① 特定費用準備資金等の積立てを承認した。
- ② 平成27年度事業報告書(案)及び決算報告書(案)を承認した。
- ③ 内閣府から指摘のあった契約規程(案)と財産運用規程(案)を承認した。
- ④ 第11回評議員会の招集を決定した。
- ⑤ 代表理事、業務執行理事より職務の執行状況について報告した。

第24回 7月1日(金)(定款第45条の規定による決議の省略の方法により決議)

- ① 代表理事(理事長)に高久史磨理事を選定した。
- ② 業務執行理事(専務理事)に佐藤和人理事を選定した。
- ③ 業務執行理事の就任に伴う報酬に関して承認した。

第25回 2017年1月13日(金) 於:「東京會館 LEVEL XXI」オリオンルーム

- ① 第23回MR認定試験の結果を承認した。

- ② 平成29年度事業方針(案)について報告した。
- ③ 代表理事、業務執行理事より職務の執行状況について報告した。

第26回 2017年3月6日(月) 於:「東京會館 LEVEL XXI」オリオンルーム

- ① 平成29年度事業計画(案)について承認した。
- ② 平成29年度収支予算(案)について承認した。

(2) 評議員会

第11回 6月16日(木) 於:「東京會館 LEVEL XXI」オリオンルーム

- ① 評議員3名の辞任申し出に伴い、新しく3名を評議員として選任した。
任期は、定款第16条により、平成30年度定時評議員会の終結の時までとなる。
- ② 任期満了を迎えた理事8名及び監事全員の再任を決議した。
- ③ 業務執行理事の退任申し出に伴い、佐藤和人氏を理事として選任した
- ④ 平成27年度事業報告書に伴い、平成27年度決算報告書(案)が承認された。
- ⑤ 平成28年度事業計画について報告された。
- ⑥ 平成28年度収支予算について報告された。

3. MR認定試験の実施及び認定に関する事業(定款第4条第1号関係)

1) 第23回MR認定試験の実施

(1) 試験実施のため、人材派遣会社社員及び試験会場の大学アルバイト総計241名に試験監督員を委嘱し、これら監督員に試験当日の会場設営と当日の試験監督を依頼した。

- ① 試験日時 12月11日(日)午前9時30分より午後3時50分まで
- ② 試験地 東京、大阪の2地区4会場(学習院大学、日本大学経済学部、大阪工業大学、立命館大学大阪いばらきキャンパスを借用)
- ③ 受験者数

	人数
新規受験者	2,582名
再受験者	920名
受験者計	3,502名
受験申請者数	3,566名

なお、新規受験者は、平成28年度導入教育修了者が中心であり、昨年より620名減少した。

(2) 試験委員会の開催

第27回運営委員会 9月14日

- ・第23回MR認定試験問題等について検討した。

第32回試験委員会 5月27日

- ・第23回MR認定試験の作問要領の確認及び提出期限の確認を行った。

第33回試験委員会 2017年1月10日

・第23回MR認定試験受験者に対する合否についての判定を行った。

(3) 合否の判定

2017年1月13日開催の第25回理事会で承認を受けた後、1月27日付で受験者に試験結果を通知した。

	合格者数	合格率
新規受験者	2,169名	84.0%
再受験者	350名	38.0%
合計	2,519名	71.9%

(4) 合格基準の公表

合格基準点及び配点並びに正答を公表した。

2) 第24回MR認定試験の準備

第24回試験は2017年12月10日とし、実施に向けて準備に入った。

(1) 第24回試験受験案内を2017年3月29日付で各企業に通知した。

(2) 試験会場として学習院大学、日本大学経済学部、大阪工業大学、立命館大学大阪いばらきキャンパスから借用できる内諾を得た。

3) MR認定証の発行及び管理

(1) 第23回MR認定試験合格者への認定証は、申請のあった1,092名に対し、2017年3月31日までに順次発送した。

また、企業の合併やMRの企業間移動及び認定証の棄損・亡失などの理由により再交付した認定証は、179枚であった。

(2) 不合格者に対しては、再受験科目の管理を行った。

4) MR認定証の更新手続き

MR認定証の有効期限が2017年1月末日の者を主な対象とし、認定更新を行った。

(1) MR認定証の更新と管理

① 9,564名のMRから認定更新の申請があり認定した。

② MR認定証の更新には5年間の教育研修修了認定が必須のため、MR認定証更新に関する認定研修のデータを具備した「MR教育・試験管理システム(MR O)」を運用し管理した。

(2) MR認定証更新に伴う補完教育

① 補完教育は、IT(パソコン)方式と用紙方式で実施した。2016年度は経過措置期間の最終年度であり、2017年度から用紙方式は撤廃される。

② 北里大学薬学部から2017年度の新作問題として20問を受領したが、これをもって契約満了となる。

③ 2016年度補完教育の受講状況(2017年3月31日現在)

対象者は、MR認定証の有効期限が2017年1月末日であり、更新に必要な認定研修を充足できず認定証の更新を希望する者。

・IT方式 申込数1,575名(企業1,282名 個人293名)

受講者登録数	1,422名 (ID・パスワード発行者数)
未受講者数	27名
受講中者数	58名
合格者数	1,328名
不合格者数	32名 (期限内未修了31名・合格基準未達者1名)

・用紙方式	申込者数	2名
	合格者数	2名
	不合格者数	0名

5) MRの資質向上等に関する調査研究事業
調査活動

(1) MRの実態及び教育研修の現状に関する調査

センターに登録している製薬企業 190 社とCSO16 社、卸 1 社に対し 2016 年 3 月 31 日時点でのMRの実態及び教育研修の現状についてアンケート調査を行い、「MR白書」(2016年版)としてとりまとめた。

7月29日に厚生労働省、日本製薬工業協会をはじめとする関係各所、及びセンター登録 206 社に「MR白書」(2016年版)を発送した。

(2) 「MRの果たすべき役割」—求められるMR像に向けて—の改訂版を企画し、日本製薬工業協会、日本ジェネリック製薬協会の協力を得て2017年3月に発行した。

(3) 製薬企業との情報交換会の開催

MRをめぐる環境変化が激しくなっているため、製薬企業を訪問してMRの教育現場を視察し、情報交換会を開催した。

○帝人ファーマ株式会社(8月23日)

4. MRに対する教育研修に関する事業(定款第4条第2号関係)

1) 教育研修委員会

第46回委員会(9月1日開催)

(1) 2015年度認定状況及び改善指導について

・「教育研修の認定状況」について承認した。

・「教育研修システム」の認定について承認した。

・「教育研修認定に関する指導基準」に基づく改善指導について承認した。

(2) 2015年度補完教育実施報告について承認した。

(3) 教育研修要綱解説書の改訂について承認した。

(4) 2018年度からの補完教育実施方法の変更について承認した。

- (5) 「MRテキスト2018」作成について報告した。
- (6) 2016年度補完教育進捗状況について報告した。
- (7) 「MR白書」(2016年版)について報告した。
- (8) 2015年度教育研修施設の受託教育について報告した。

第47回委員会(2017年3月7日開催)

- (1) 教育研修要綱細則の改訂と用語の見直し、および教育研修要綱逐条解説の再編集について承認した。
- (2) 継続教育検討委員会について承認した。
- (3) MRテキスト 2018 の刊行について承認した。
- (4) 2017 年度研修会・セミナーの開催について承認した。
- (5) 2017 年度補完教育実施について受講要項(案)を承認した。
- (6) 2018 年度からの補完教育受講システム変更について承認した。
- (7) 第 23 回MR認定試験について報告した。
- (8) 2016 年度教育研修管理者認定更新講習会について報告した。
- (9) 2016 年度補完教育進捗状況について報告した。

2) 補完教育小委員会

第10回小委員会(9月1日開催)

- (1) 2015年度補完教育の実施状況について報告した。
- (2) 2016年度補完教育の進捗状況を報告した。
- (3) 2018年度からの補完教育CBT受講手順の変更について検討した。

第11回小委員会(2017年3月3日開催)

- (1) 2015年度補完教育の完了を報告した。
 - (2) 2016年度補完教育の進捗状況を報告した。
 - (3) 2017年度補完教育受講要項(案)について検討した。
 - (4) 2018年度からの補完教育受講システム変更について検討した。
- 尚、IT方式を基本とする実施方法を導入した2011年に決定されていたとおり、補完教育小委員会は第11回を以て発展的解消となった。

3) 教育研修システムの運用

(1) 教育研修に関する認定

「MR教育・試験管理システム」を運用し、教育研修履修の認定を行った。

- ① 教育研修計画書及び実施報告書の企業からの申請に基づき審査を行い、各MRの教育研修履修認定を行った。

	企業数	申請教育研修数	教育研修対象者数
導入教育計画認定	118社	157件	1,938名
同実施報告認定	124社	244件	2,592名

継続教育計画認定	202社	581件	81,975名
同実施報告認定	201社	1,077件	76,146名

- ② 新規に教育研修を開始する企業からの申請に基づき、教育研修システムの認定を4社行った。一方、業務廃止・企業合併に伴い2社の登録を抹消した。登録企業数は、214社である。
- ③ 新規に教育研修施設の認定はなく、登録辞退が1社あり合計12社となった。
- ④ 計画書の遅延や申請を失念した企業に対して「教育研修認定に関する指導基準」に基づき、改善指導を行った。

・注意 20件

内容:おもに2016年度計画申請及び実施報告の失念と完了区分の誤操作。
措置:口頭にて注意し、一部は顛末書の提出を求めて注意を促した。

・指導 2件

内容:2016年度MR登録失念と同年度継続教育計画申請失念の累積。
2015年度MR登録失念と同年度継続教育計画の対象者漏れ。
措置:対象者の履修証明記録、顛末書の提出を求め、教育研修に関する管理体制を見直し、再構築するよう指導した。

(2)各企業からの教育研修に関する相談について、助言・指導を行った。

4)教育研修管理者講習会の開催

(1)教育研修管理者認定講習会

各企業に教育研修管理者1名の登録(複数名の登録も可)を義務付けており、新たに教育研修管理者となる者のための講習会を行った。

① 教育研修管理者認定講習会の実施及び認定状況

(会場) 2016年4月および7月開催:東京薬事協会・会議室
2017年1月開催 :野村コンファレンスセンター
(内容) MR認定センター職員による教育研修要綱等の解説
(実施及び認定状況)

開催日	教育研修 管理者予定者数	再試問 対象者数	教育研修 管理者認定者数
4月 6日(水)	27名(13名)	0名	27名
7月20日(水)	30名(7名)	0名	30名
2017年1月25日(水)	38名(23名)	1名	37名
計	95名(43名)	1名	94名

()内は、複数登録の教育研修管理者数

② 試問

イ. 実施方法 CBT(Webを使ったテスト)

ロ. 出題形式及び判定基準

問題	判定
正誤 40問	正答率90%以上で合格とし、合格するまで実施

穴埋め	10問	
小論文	1問	4段階評価(A B C D)を行い、D評価は不合格とする

(2) 教育研修管理者認定更新講習会

教育研修管理者は、1年毎の認定更新を必要とする。東京と大阪の2会場に分けて開催した。

① 開催日及び場所

10月12日(水) 東京:東京コンファレンスセンター・品川

10月14日(金) 大阪:薬業年金会館

② プログラム

13:30～13:35	挨拶 専務理事 佐藤 和人
13:35～14:00	第23回MR認定試験について 試験事業部長 福田 正信
14:00～14:20	「MRテキスト2018」作成について 事務局長 近澤 洋平
14:20～14:40	補完教育と教育研修要綱解説書の改訂について 教育研修部長 友石 和登
15:00～15:20	MRの動向について 企画部長 行入 正彦
15:30～16:40	特別講演 「君、何しに来たの?」と言われるMR、「次、いつ来れる?」と言われるMR ～なぜMR 不要論は生まれたのか～ 【演者】 東京大学医学部附属病院薬剤部 黒田 誠一郎 先生
16:40～17:00	連絡事項

③ 受講者数

	東京	大阪
管理者	228名	62名
オブザーバー	43名	10名
合計	271名	72名

5) インストラクター支援講習会の開催

(1) インストラクションスキル研修会

① 開催内容

会場	東京 (アイビーホール)	大阪 (クロスウエーブ梅田)
日程	5月19日(木)～20日(金)	10月20(木)～21日(金)
	6月16日(木)～17日(金)	

	2017年2月9日(木)～10日(金)	
対象	インストラクター経験の浅い(1年以内)MR研修担当者	
講師	アドット・コミュニケーション(株) 戸田久実氏	
内容	インストラクターの基本スキルとマインドを学ぶ	

② 参加者

企業数	参加者数	(東京)	(大阪)
32社	67名	52名	15名

(2)MRに対するマナー指導者セミナー

① 開催内容

会場	東京(アイビーホール)		
日程	2017年2月24日(金)		
対象	導入教育の担当者		
講師	アドットコミュニケーション(株) 戸田久実氏		
内容	MRに求められる基本的なマナー(身だしなみ、言葉づかい)を指導できるようにする		
会場	東京(アイビーホール)		

② 参加者

企業数	参加者数
14社	17名

(3)ファシリテーション研修会

① 開催内容

会場	東京(アイビーホール)	
日程	7月15日(金)	2016年1月20日(金)
対象	研修会を効果的に進めたいインストラクター	
講師	PHP研究所 今村恵理氏	
内容	研修ファシリテーションスキルを修得し、効果的な研修を実現する	

② 参加者

企業数	参加者数
23社	34名

(4)教育デザインセミナー

① 開催内容

会場	東京(アイビーホール)	大阪(クロス・ウェーブ梅田)
日程	6月24日(金) 11月18日(金)	10月13日(木)

対象	新たにMR教育研修トレーナーになった者と教育について基礎から学びたい者。
講師	サンライトヒューマンTDMC(株)代表取締役社長 森田晃子氏
内容	トレーナー入門者が、効果的なMR教育についての基礎を学び、自社の教育に応用できるようになる。

② 参加者

企業数	参加者数	東京	大阪
26社	43名	39名	4名

(5)MR認定センターセミナー

①テーマ:「時代の転換点でMR活動を考える」

②開催日及び場所:8月27日(土) コクヨホール(品川)

③プログラム

13:30~13:40	挨拶 専務理事 佐藤 和人
13:40~15:10	講演 「医療用医薬品製品情報概要等に関する作成要領」をめぐって 医療用医薬品製品情報概要審査会 審査委員 中垣 友宏
15:10~15:30	コーヒースタイル
15:30~16:50	トークセッション 「時代の転換点でMR活動を考える」 司会 (公財)MR認定センター 企画部長 行入正彦 パネリスト アステラス製薬株式会社 人材開発部長 加藤 誠一 日本イーライリリー株式会社 人材開発部長 山田 将弘 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 研修部長 山崎 秀雄
17:20~17:30	閉会挨拶 日本製薬工業協会 常務理事 田中 徳雄

④ 参加者

企業数	参加者数
70社	142名

5. 出版物の頒布に関する事業(定款第4条第3号関係)

1) MRテキストの頒布

(1) 頒布価格

書籍名	本体価格	税込み
MRテキストⅠ 医薬品情報2012	1,500円	1,620円
MRテキストⅡ 疾病と治療2012(基礎)	1,800円	1,944円
MRテキストⅡ 疾病と治療2012(臨床)	2,100円	2,268円
MRテキストⅢ 医薬概論2012	1,800円	1,944円

(2) 改訂版の作成

書籍名	頒布時期
MRテキストⅢ 医薬概論2012 2017年改訂	2016年12月

(3) 頒布部数

書籍名	頒布部数
MRテキストⅠ 医薬品情報 2012 2015年改訂	4,034部
MRテキストⅡ 疾病と治療 2012(基礎) 2015年改訂	4,145部
MRテキストⅡ 疾病と治療 2012(臨床) 2015年改訂	4,010部
MRテキストⅢ 医薬概論 2012 2015年改訂	25部
MRテキストⅢ 医薬概論 2012 2016年改訂	2,258部
MRテキストⅢ 医薬概論 2012 2017年改訂	3,224部

(4) その他の冊子の作成と頒布

- ・2016年版MR白書—MRの実態および教育研修の本調査—
- ・「まんがMR物語 改訂版」
- ・「MRの果たすべき役割 改訂版」

6. 広報活動(定款第4条第1号関係)

1) 第19回センター・ミーティングの開催

開催日:東京会場 2017年2月21日(火)

大阪会場 2017年2月23日(金)

場 所:東京会場 東京コンファレンスセンター・品川

大阪会場 薬業年金会館

- ① センター報告を各事業部より実施。
 - ② 「MRテキストについて」報告を行った。
 - ③ MR認定センターの中期計画について報告を行った。
- その後、総合意見交換を行った。

2) 関連団体や大学での講義

MRを取り巻く環境が年々大きく変化してきていることから、業界団体等で「MRの現

状とこれから」についての講演を行った。

2016年5月12日(木) 大阪医薬品協会

2017年1月17日(火) 大阪医薬品協会

2017年3月1日(水) 東京医薬品工業協会

4月～7月 日本薬科大学薬学部医療ビジネス薬科学科「MR概論」講義

3) 第26回日本医療薬学会に出展

9月17日(土)～19日(月)に開催された日本医療薬学会年会において、国立京都国際会館でブース展示し、薬系大学教員・学生や医療関係者にMR職の紹介をした。

4) 第137回日本薬学会年会に出展

2017年3月25日(土)～27日(月)に仙台市で開催された、日本薬学会第137年会において仙台国際センターにてブース展示し、薬系大学教員・学生や医療関係者にMR職などを紹介した。

5) 学会発表・講演等

・九州生産性本部 講演(8月24日 九州生産性本部会議室)

6) MR認定センター20周年記念事業の検討

- ・センターが、2017年12月1日に20周年を迎えることから、広報事業の一環としてこれを記念した事業を行うべく委託業者を検討した。広告・宣伝事業として株式会社電通、記念講演会事業として株式会社協和企画を選定した。
- ・センターのホームページは、これまで必要に応じて部分改修を行ってきた。このたびサイバー攻撃や個人情報の漏えい等のリスク対策と使い勝手の悪さを解消すべく、全面的にリニューアルし、委託業者として株式会社協和企画を選定して8月1日よりホームページを更新した。

7. 委員会の開催

1) 試験委員会

(p2を参照)

2) 教育研修委員会

(p4を参照)

3) 補完教育小委員会

(p5を参照)

8. 設備投資等について

1) 特定費用準備資金の取崩し

(1) 認定試験事業

創立20周年事業、認定試験及び補完教育実施を目的として、特定費用準備資金を取崩し、費用に充当した。

(2) 教育研修事業

MROの運用、講習会実施及び教育研修要綱の運用を目的として、特定費用準備資金を取崩し、費用に充当した。

以上

平成28年度「事業報告の附属明細書」について

平成28年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する“事業報告の内容を補足する重要な事項”が存在しないので附属明細書を作成しない。

以上